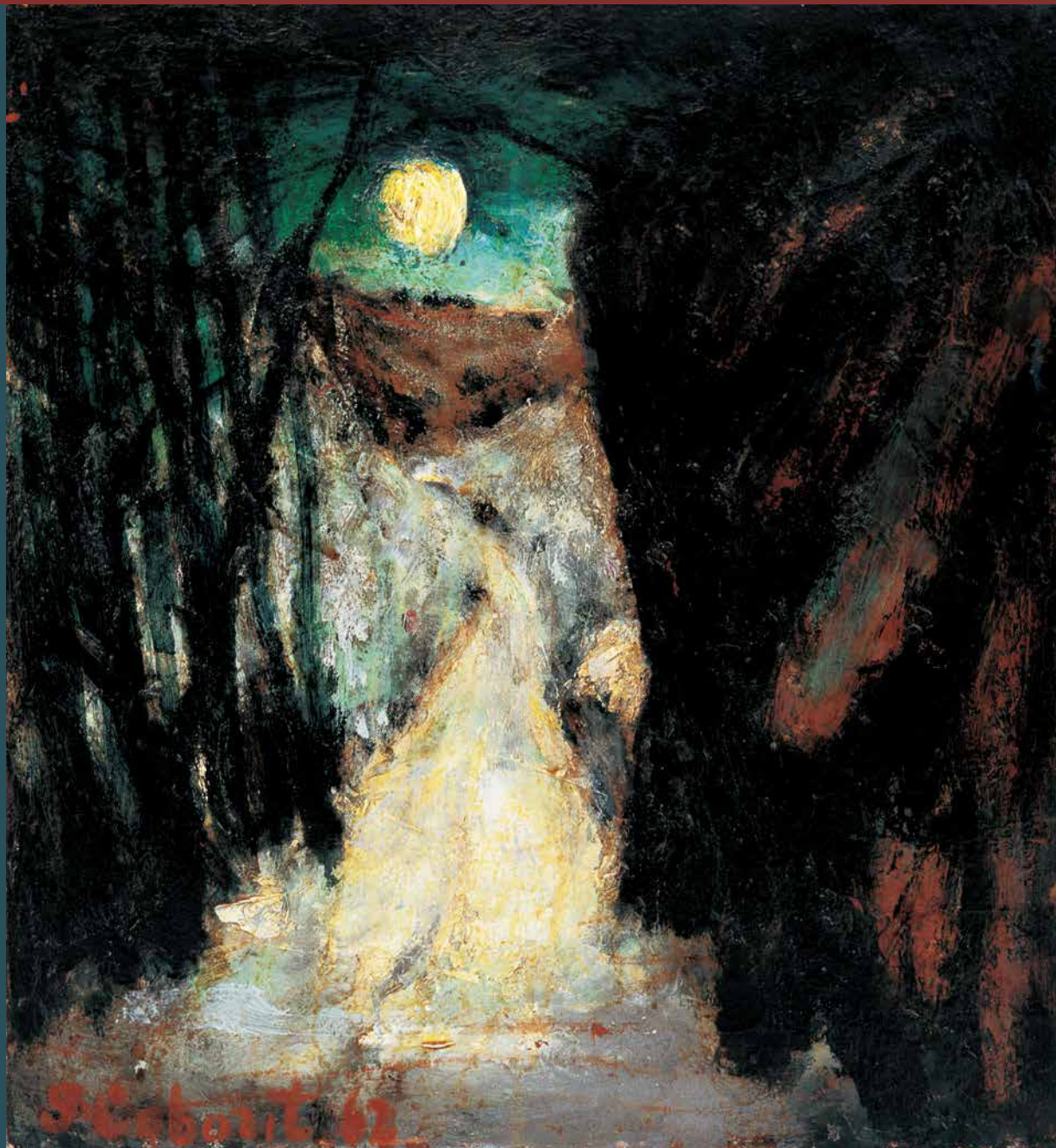


いのちの輝き 生誕120年 小堀四郎

地域にゆかりのある作家の作品を収集・展示している茅野市美術館では、令和4年度第1期収蔵作品展にて「いのち」をキーワードに8名の作家の収蔵作品を紹介します。そのなかで、2022年に生誕120年を迎える洋画家・小堀四郎(1902-1998)を特集展示します。小堀は自然の尊厳や生命の神秘を描き、自身の信じた芸術の道を歩み続けました。疎開を機に滞在した茅野市・蓼科では、その美しく雄大な自然を感じた作品を生み出しています。様々な表情をみせる自然、そしてそこに生きるあらゆる「いのち」の輝きをとらえた作品の数々をどうぞお楽しみください。

令和4年度 茅野市美術館常設展 第1期収蔵作品展



小堀四郎《蓼科(月明かり)》1962年

〔展示作家〕

小堀四郎(洋画家 1902-1998)

小口正二(工芸家 1907-2000)

小川正波(工芸家 1911-1977)

平野杏子(洋画家 1930-)

島立幸男(工芸家 1945-)

竹森公男(工芸家 1949-)

藤森民雄(彫刻家 1954-)

岩波昭彦(日本画家 1966-)

2022年4月6日[水]-7月4日[月]

茅野市美術館 常設展示室 開館時間=10:00-18:00

■観覧料=無料 ■休館日=毎週火曜日(ただし火曜日が祝日の場合は、その直後の休日でない日)
新型コロナウイルス感染症の影響により、変更等が生じる場合がございます。

いのちの輝き・生誕120年 小堀四郎

〔関連イベント〕学芸員による作品解説会

●5月7日[土] 11:00-(要事前申込・無料) ●会場/茅野市民館ロビー ●定員/15名